

国語科(言語文化)学習指導案

指導者

- 1 履修単位数 3単位
2 実施日時 令和5年 9月 日() 第 時限
3 学 級 HR (名)
4 使用教科書 精選言語文化(第一学習社)
5 単元(題材)名 古典作品をリライトし、より深く作品を読解する
(『土佐日記』『門出』)

6 単元設定の理由

(1) 生徒観

生徒は意欲的に学習に取り組めており、グループ活動やペア活動を好み、話し合いを積極的に行う傾向にある。これまでに「見のそら寝」や「伊勢物語」、助動詞までの学習を終えており、古典文学への親しみを少しずつ感じられるが、一方で、助動詞までの文法的な学習を経て、古典文法への苦手意識をもっていることが課題である。また、書かれてあることを理解しようとする意欲はあるが、理解した内容を自らの言葉で表現することに課題がある。

(2) 教材観

『土佐日記』は、十世紀半ば頃に成立した日記文学で、作者は紀貫之である。任国土佐から京までの五十五日間にわたる旅日記で、女性仮託の立場で書かれている。本教材である「門出」は『土佐日記』の冒頭部分であり、虚構設定や諧謔表現の面白さなど、作者の表現の工夫や創作意図を読み取るのに適した教材といえる。作者の表現の工夫やその面白さを現代的に表現することで、より深く作品を味わうことにつなげたい。

(3) 指導観

『土佐日記』『門出』を、生徒にとって身近な方法で現代的に表現する活動を通して、作者の工夫を読み取るだけでなく、読み取った内容を自らの言葉で表現する力を身に付けさせたい。また、本教材の文章と生徒自身の表現を比較し、その相違点や共通点から解釈を深め、作品に対して自分の考えをもつ力を養いたい。

7 単元の目標

- (1) 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景を理解することができる。
[知識及び技能](2)イ
- (2) 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。
[思考力・判断力・表現力等]B(1)イ
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。「学びに向かう力、人間性等」

8 本単元における言語活動

作品から読み取った内容を自分なりにリライトし、タブレット端末で共有することを通して批評したり討論したりする。
[思考力・判断力・表現力等]B 読むこと(2)イ

9 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景を理解している。 (2)イ	①読むことにおいて、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 (B(1)イ)	①これまでの学習を生かしながら、積極的に自分の考えを表現するとともに、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈しようとしている。

10 指導と評価の計画（全5時間）

次	学 習 活 動	評価の規準と方法
第1次 3時間	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の目標や進め方を確認し、学習の見通しをもつ。 ・資料を用いて作品について調べる。 ・音読によって物語の展開を概観する。 ・文法事項を確認しながら第一・二・三段落を現代語訳し読解する。 	[知識・技能] ①記述の確認
第2次 1時間	<ul style="list-style-type: none"> ・第三段落を復習する。 ・現代語訳を参考にし、作者の表現について考える。 ・自分の考えを整理し、テンプレートを利用してリライトする。 ・他の生徒と発表し合い、解釈を深める。 ・リライトした感想をワークシートに書く。 <p style="text-align: right;">(本時)</p>	[思考・判断・表現] ①記述の確認
第3次 1時間	<ul style="list-style-type: none"> ・前時を振り返り、生徒のリライトの感想を共有する。 ・日記における仮名の効果について考察し、作品を批評する。 ・振り返りシートの記述を確認し、単元全体の学習を振り返る。 	[主体的に学習に取り組む態度] ①記述の分析

11 本時の目標

古典作品をリライトすることで、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。

12 本時の展開

時間	学習時間	指導上の留意点	学習活動における 具体的評価規準	評価方法
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の復習を行う。 ・本時の目標を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文法事項の確認をしながら文章を理解させる。 ・作者の諧謔表現について理解させる。 		
展開 35分	<p>①現代語訳を参考にし、第三段落をリライトする。自分で選んだ MetaMoJi Class Roomのテンプレートや指定の用紙に書く。</p> <p>②リライトした作品を生徒同士で発表し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・リライトとは、「すでにある文章を、テーマを変えずに書き直して読者にわかりやすく読んでもらうようにすること」であると説明する。 ・選んだテンプレートの特徴を生かして表現方法を工夫するよう指示する。 ・他者の発表を受けて、自分が書いたものとの相違点に着目させる。 ・誤った解釈を全体で共有し指摘する。 	[思考・判断・表現] 作者の表現を自分なりに表現し直すことで、作品の解釈を深めている。	記述の確認① <u>ワークシート</u> (MetaMoJi ClassRoom)
まとめ 10分	<ul style="list-style-type: none"> ・リライトした感想をワークシートに記述し、本時の目標を達成できたか確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作者の意図を理解し、その内容を自分なりに表現することができたか振り返らせる。 		

13 評価及び指導の例

「十分満足できる」と判断される状況	<ul style="list-style-type: none"> ・当時の文化を理解したうえで、面白さを現代的に表現できている。 ・他者の発表を受けて解釈を深め、『土佐日記』の面白さを批評できる。
「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導・手立て	<ul style="list-style-type: none"> ・選んだテンプレートの特徴を生かして、どのような表現方法が可能か考えられるように、助言したり例を提示したりする。 ・着目すべき事柄を電子黒板に投影し、生徒が常に確認できるようにする。